

介護人材実態調査【事業所票】訪問系

※令和8年1月1日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

※本調査票の送付先（郵便・メール等の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

- | | |
|----------------------|---|
| <input type="text"/> | 1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）） |
| <input type="text"/> | 2. 小規模多機能型居宅介護 |
| <input type="text"/> | 3. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| <input type="text"/> | 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数		人	左記のうち常勤職員		人
			左記のうち非常勤職員		人
外国人職員数		人	派遣職員数		人

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

（1つ選択）

- | | |
|----------------------|--------------|
| <input type="text"/> | 1. はい ⇒問2-3へ |
| <input type="text"/> | 2. いいえ ⇒問3へ |

問2-3 令和8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

	採用者数	離職者数
常勤職員		
非常勤職員		
合計		

問3 今後3年後(令和10年度末時点)を想定した場合、現在の人員体制と比較して貴事業所では介護職員はどの程度不足すると見込まれますか。人数を教えてください。不足する見込みがない場合は、0人としてください。（数値を記入）

※不足見込みには、依頼があっても受け入れ困難な状況や、休暇等がとりにくい状況等を考慮して算出してください。

※詳細な人数ではなく、概数・見込みで構いません。

参考)常勤1人=1.0 非常勤(週20時間程度)=0.5

問4 人員体制に不足が生じる要因を教えてください。(自由記述)

- 例)
- ・ 高齢(定年・65歳以上)による退職が見込まれるため
 - ・ 離職(自己都合退職等)が一定数見込まれるため
 - ・ 新規採用が計画通り進まない見込みのため
 - ・ 業務量の増加により、現行体制では不足するため など

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	
介護保険事業所番号 (※28で始まる10桁の番号)	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。